

イエスのことば

聖書フォーラム みやま集会

2020年11月7日

出典：“The Life of The Messiah vol.2” Arnord G. Fruchtenbaum, TH.M.,PH.D.

1

x

イエスのことば（第8回）

「神は霊ですから、神を礼拝する人は、**霊**と真理によって礼拝しなければなりません」（ヨハネ4：24） 新改訳2017 ただし、御**霊**→**霊**

「御**霊**」は、神の**霊**のこと
この箇所は、人の**霊**を指す

2

文脈の確認

1. メシアはユダヤ人の王として来る
2. 神がイエスをその王であると認めた出来事 3つ
 1. ヨハネから洗礼を受けたときに神の声が天から響いた
 2. 荒野でサタンの誘惑を受けてこれを退けた
 3. 先駆者ヨハネがイエスをメシアであると証言した
3. 第三の出来事に続いて、初期の弟子5人
4. 第三の出来事から7日目、最初の奇跡

3

文脈の確認

5. カペナウムに、母や弟たちと家族旅行
6. 春の過越の祭りが近づいた
7. 5人の弟子たちを連れて、エルサレムへ
 1. 神殿域で商売人たちを追い出した。事実上のメシア宣言
 2. 祭りの期間中、多くのしるしを人々の前で行った
8. ユダヤ教パリサイ派の有力者、ニコデモがイエスを訪問した（前回とりあげた）

4

文脈の確認

9. 先駆者ヨハネが、ペレアで逮捕収監される
10. イエスは、ユダヤを去って、ガリラヤへ。ペレアを通るのを避けて、サマリア経由で

本日のイエスのことばは、サマリアでの、
一人の女性との対話

5

本日のアウトライン

P.2

- A) 場面設定（ヨハネ4：5～9）
- B) メシアであることの啓示（4：10～26）
- C) イエスに対する認識の変化

6

A) 場面設定 - 1 スカルという町 P. 2

- ① ヤコブがその子ヨセフに与えた地所に近い
- ② 北王国はアッシリアに滅ぼされた。移って来た異民族と残留イスラエル人との混血→サマリア人
- ③ イエス一行は、昔はイスラエル民族のうちのヨセフ族の割り当て地に来た

7

A) 場面設定 - 2 ゲリジム山 P. 2

- ① イスラエル民族の建国の地
- ② バビロン捕囚からの帰還
- ③ 北のガリラヤと南のユダヤに。中部のサマリアにはサマリア人が住んでいた
- ④ 神殿再建、サマリア人からの協力申し出を拒否
- ⑤ サマリア人は、エルサレムに対抗して、ゲリジム山を聖地とし、モーセ五書を書き換えて礼拝

8

A) 場面設定 - 3～5 井戸 P. 3

3. イエスは旅の疲れから、井戸の傍らに座っていた。時は、正午頃
4. 弟子たちは食物を買いに、町へ出かけていた
5. 一人のサマリアの女が、水を汲みに来た。
イエスは彼女に言った。「わたしに水を飲ませてください」

9

A) 場面設定 - 6 女の驚き P. 3

- ① ユダヤ人はサマリア人と付き合いをしなかった
- ② 全く交渉をしなかったというのではない。対価を伴わず、好意で何かをしてあげる、してもらう、は×
- ③ イエスは、いくら払うからと言わずに、「水を飲ませてください」と言ったので、女は驚いた
- ④ しかも、ユダヤ人の男性がサマリアの女性に声をかけることは異常。あとで、これを見た弟子たちはもっと驚いて、話題にすらできなかった (4:27)

10

B) メシア啓示までのステップ P. 3～5

1. 新しい種類のいのちについて
2. 彼女自身のことについて
3. 真の礼拝とは何によるのか
4. 父なる神について
5. イエスがメシアであることについて

11

B-1 新しい種類のいのち P. 3

- ① 10節 生ける水：ためた水でなく、湧き水
- ② 11～12節 汲む物をお持ちでないのに
- ③ 13～14節 この水を飲む人はまた渴く。わたしが与える水を飲む人は決して渴くことがない。その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出る
- ④ 15節 私がここに汲みに来なくてもよいように、その水を私にください

12

B-2 彼女自身のこと

P. 4

1. 15節 あなたの夫を呼んで来なさい
2. 16節 私には夫はいません
3. 16～18節 その通りである。あなたには夫が5人いたが、今一緒にいるのは夫ではない。あなたは本当のことを言った
4. 19節 あなたは預言者だとお見受けします
サマリア人にとっては、モーセの次の預言者はメシア

13

B-3 真の礼拝とは何によるのか P. 4

- ① 20節 私たちの先祖はこの山（ゲリジム山）で礼拝しましたが、あなたがたは礼拝すべき場所はエルサレムにあると言っています
- ② 21節 女の人よ、わたしを信じなさい
- ③ 21～23節 この山でもなく、エルサレムでもないところで → 霊において（世界中、どこでも、いつでも）

14

B-3 真の礼拝とは何によるのか P.4

21～23節 救いはユダヤ人から出るのですから、わたしたち（ユダヤ人）は知って礼拝していますが、あなたがた（サマリア人）は知らないで礼拝しています → 真理において（真理を知って）

真の礼拝者は、霊と真理において父を礼拝する

15

B-4 父なる神について P.5

24節

神は霊である

ですから、神を礼拝する者は、霊と真理によって礼拝しなければなりません

16

B-5 イエスがメシアであること P.5

- ① 25節 私はキリストと呼ばれるメシアが来られることを知っています。その方が来られるとき、一切のことを私たちに知らせてくださるでしょう
- ② 26節 あなたと話しているこのわたしが、それである

17

C) イエスに対する認識の変化 P.5

1. ユダヤ人 (9節)
2. 主よ【英語では Sir 尊敬の念をもつ呼びかけ】
(11、15、19節)
3. 預言者 (19節)
4. メシア (25、29節)

18

【補足】真理とは何か 1.

- ① ヨハネ5：33 真理について証しした
- ② ヨハネ6：14 . . . は真理である
- ③ ヨハネ7：40～41 は真理である
- ④ 結論 真理とは、「メシアは誰なのか、イエスがメシアである」
- ⑤ ヨハネ1：17 恵みと真理は、イエス・キリストによって実現した

19

【補足】真理とは何か 2.～5.

- 2. ヨハネ8：32 真理を知る
- 3. ヨハネ3：21 真理を行う
- 4. ヨハネ8：44 悪魔は真理に立っていない
- 5. 真理の御霊
 - ① 御霊は、イエスがメシアであると証しする（15：26）
 - ② 御霊は、信じた者たちをすべての真理へと導く。すべての真理とは「これから起きること」（16：13）

20